

2011年04月28日

社団法人 日本画像医療システム工業会

「画像診断機器関連産業 2011」発刊の件

このほど社団法人日本画像医療システム工業会（以下JIRA、会長 加藤 久豊）は、「画像診断機器関連産業 2011」を、発刊いたしました。

JIRA は、「画像診断機器関連産業」を年次活動報告書として 2006 年創刊以来、毎年発刊しており、本書が第 6 号となります。

創刊時からの編集方針に基づき、日本の医療の状況や行政の動向、画像医療システム産業を取り巻く環境の変化を分析した上で、JIRA の活動や行政・社会への提言をまとめた報告書で、いわば「業界白書」とも言えるものです。

現在、高度情報化社会への移行に伴い、センサやディテクタといったハードのイノベーション、および IT のイノベーションが急速に進展し、医用画像診断・治療の分野は、大きく変貌してきています。今後は、これらのイノベティブな技術を医療機器・システムとして医療の中で役立たせていくことが大切で、そのための臨床研究・評価の迅速化やレギュラトリーサイエンスの確立、関連産業の育成・振興などを迅速かつ戦略的に進める必要があります。

「画像診断機器関連産業 2011」では、まずこの方向に向けたプロアクティブな施策提言・連携活動などを積極的に展開し、実践することを目標にした“2011 年 JIRA 重点活動方針”を掲げました。

このほか、“最近の画像医療システムの動向と JIRA のビジョン”を紹介するとともに、“医療機器市場活性化に向けた JIRA の活動と行政への提言”など幅広い JIRA の活動を紹介しています。さらに、“資料編”では、わが国の医療事情を俯瞰する上で参考となる最新統計データを見やすく充実しました。これには、JIRA が独自に調査した貴重な市場統計や市場調査データが含まれております。

なお、3月の「東日本大震災」に対して、医療関係産業界には、ライフライン復興の要の一つである医療体制の再構築への早急な対応と貢献は言うに及ばず、災害をばねに、思い切った発想で飛躍し災害に強い医療体制作りへの参画も期待されています。

JIRA は医療界・行政の動きと連携し、業界活動や施策提言を今後も強化していきます。

以 上

【日本画像医療システム工業会について】

1924年設立以来日本における放射線医療の発展とともに歩みつけ、今日では放射線機器・画像医療システム等を供給し、つねに先進の医療環境をサポートする178の会員会社を擁する産業団体に成長しました。

当工業会は、設立当初から業界標準化の推進や法規制問題、安全性問題等に幅広く取り組み、人々の健康と福祉に貢献してきました。高齢化社会への対応が急がれる21世紀。今後は、予防・健康管理から早期発見・診断・治療まで、医療機器とそれに伴うサービスやソリューションの範囲を、ますます広げていくことが使命であると考えます。

当工業会各社は、画像医療システム産業を健全に発展させ、国民の健康と日本経済の発展に貢献できるよう一丸となって活動していきます。

※ JIRAは社団法人 日本画像医療システム工業会の商標です。

本資料に関するお問い合わせ

社団法人 日本画像医療システム工業会 TEL:03(3816)3450

事務局 西口

産業戦略室 松本

(添付資料)

1. 「画像診断機器関連産業2011」表紙
2. 「画像診断機器関連産業2011」目次